和気あいあいと 年忘れの会

平成二十年子年の忘年会が、十二月十一日いかるぎ館に於いて開催され、七十三人の会員が一堂に会し楽しいひとときを過ごしました。

八田嵩副会長の挨拶（林成憲会長が体調を崩して入院されたため）に続いて、八田政夫さん、林薫さん、八田敏夫さん、林絹子さん、林敦子さん、林久子さん、林明子さん、林末子さんら九人の喜寿会員の方々に記念品が贈呈されました。

そのあと、余興として庄川町のアマ・マジシャンクラブ「サム・チップ」のメンバー五人による、踊り、マジックが披露されました。ハトが飛び出すマジックや、南京玉すだれなどの素人離れした芸で楽しいひとときを過ごしました。

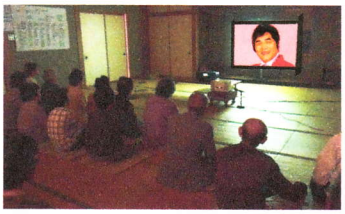
喜寿のお祝い

当会会長林成憲さんが、十二月十三日、逝去されました。享年七十二歳。

一昨年、当会会長並びに老連会長に就任されて以来、会務に精励され、死の直前まで病魔と戦いながら、老人クラブ活動の充実、発展に心を配って来られました。

ここに生前のご功績に敬意を表するとともに、謹んでご冥福をお祈りいたします。

らんじょ 浮世亭 だより



１２月下旬は珍しい好天に恵まれて、３２名の方々が参加されました。今回は年忘れお笑い劇場「綾小路きみまろ」を楽しみました。おなじみの毒舌ながら、妙に心に響く絶妙のトークに爆笑のひとときを過ごしました。午後の書写・朗唱の集いは「正信偈」の最終行唯可信斯高僧説までを書き終えました。終了を記念して浄書セット（親鸞上人絵像・正信偈書写用紙・正信偈意訳）が配られました。

次回は平成２１年１月２２日（木）です。

（第３水曜の２１日にいかるぎ館にて公の会議があるため、２２日木曜日に変更しました。）

恒例の新春お楽しみ会で、各種ゲーム、クイズ、福引き、合唱、ビンゴ、その他などを予定しています。初春の一日、みんなと顔を合わせて楽しいひとときを過ごしませんか。ご来亭お待ちしています。

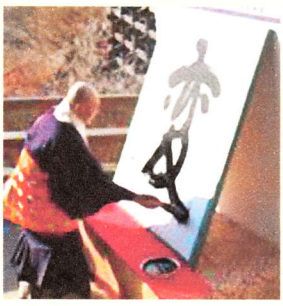
午後の書写・朗誦の集いでは、正信偈に引き続き今月から「仏説阿弥陀経」1902字に挑みます。阿弥陀経への理解を深めながら、声を出し手を動かしてのひとときは、老化の予防にもつながります。どうぞご参加ください。

砺波バージョンの南京玉すだれ

そのあと懇親会につり、たっぷり二時間あまり、大いに呑んだり語ったりして、多難だった子年の一年を振り返りました。

林孝一元会長の万歳三唱のあともしばらく歓談が続き、二時過ぎ目出度く打ち上げました。

年を越しましたが昨年二〇〇八年の「今年の漢字」には「変」が選ばれました。応募約十一万点の五パーセント強の六〇三一が「変」でした。



顧みれば平成二十年は、日本の首相が安倍、福田、麻生と短期間で交代、米国の次期大統領にオバマが決まったことや、株価が暴落した世界経済の大変動、物価上昇による生活の変化など、まさに「変」の一年でした。

「変」にはまた「来年こそは」という国民の切実な願いが込められているとも言えそうです。

いい年に変えたい。変わって欲しい」という

鵤木（いかるぎ）

市町村が運営する公立病院の七割が赤字で、赤字の総額は年間二千億円にのぼるそうです。このため国は赤字病院の統合・廃止を促し、全国各地で医療難民が増えるという深刻な状況に陥っています。

過疎などの為に赤字にならざるを得ない地域の公立病院を支えることこそ、本来国家が担うべき社会保障というものではないのでしょうか。億万長者にも一律一万二千円を支給するという不評紛々たる生活支援金二兆円。これだけあれば全国の公立病院の赤字十年分がカバーできる勘定です。為政者達なかんずく麻生総理に、どうしてこのような素朴な庶民感情が理解できないのでしょうか。自分が住む地域から、命の綱である公立病院が消えていく。そんな絶望的な人々の心根を思いやり、温かい手をさしのべるような政治家が出て欲しいものです。

ペタンク冬期練習会へのお誘い

1月18日（日）２月8日（日）

場所　庄東小学校体育館
1時半集合　2時練習開始

∴　1月18日の練習終了後抽選会を予定しています